

東日本大震災からの1日も早い復興を!

救援募金にご協力ください!

3月11日の東日本大震災は、未曾有の深刻な被害をもたらしました。一瞬で、いのちも、家も、財産も、ふるさとも奪われました。福島原子力発電所の放射能漏れ事故が追い打ちをかけ、2次的、3次的な被害をもたらし、収束の見えない状況が続いています。

いのちを守る使命として

病院や介護施設等も大きな被害を受けました。家族の安否も不明な中で救命救急、救済に走り回り、避難所から職場に通う人、また家に小さな子どもがいる人も、いのちまもる職業として不眠不休で医療活動を続けています。



(平成23年3月12日福島民友新聞掲載)

人手不足が震災でもあきらかに

この大災害は、医療・福祉労働者の人手不足も明らかになりました。大震災被害の大きかった地域は、もともと医師・看護師不足が深刻な地域でした。2007年の「公立病院改革ガイドライン」で県立病院などの公的医療機関が統廃合で減らされたためです。そのうえ今回、壊滅的な被害をうけ、地域医療が崩壊の危機です。しかし、日本中どこも人手不足による「医療・介護崩壊状態」にあり、このまま支援を続けるのが困難になってきています。

▶入院患者を緊急避難させる
福島・大原総合病院の仲間

医療を拠点に1日も早い復興を

1日も早い復興を国の責任で行うと同時に、生きていく上で最も重要なライフラインと医療の確保をどうするかを基本にすべきと考えます。地域医療を再生する、いのちの拠点をつくることを求めます。そのためにも医療・福祉労働者の大幅増員が必要です。

私たちは、医療支援・ボランティア活動とともに救援募金にもいち早く行動してきました。長期の支援が必要です、ご協力をお願いいたします。



大幅増員・被災者救援を訴える日本医労連の仲間たち



NI 医労連

日本医療労働組合連合会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
TEL:03-3875-5871 FAX:03-3875-6270
ホームページ: <http://www.irouren.or.jp>

いのちを大切に したいから 大幅増員・夜勤改善を

医療や介護現場の人手不足は深刻です。社会保障費抑制策によって、医療・介護崩壊と患者・利用者の負担増がひろがり、国民の命と健康が脅かされています。医療・社会保障予算をふやし、安全・安心の医療・介護を実現しましょう。

署名にご協力ください

いのちを大切にしたいから
大幅増員、夜勤改善を
国民負担を減らし、安全・安心の医療・介護を

医療や介護現場の人手不足は深刻です。社会保障費抑制策によって、医療・介護崩壊と患者・利用者の負担増がひろがり、国民の命と健康が脅かされています。医療・社会保障予算をふやし、安全・安心の医療・介護を実現しましょう。

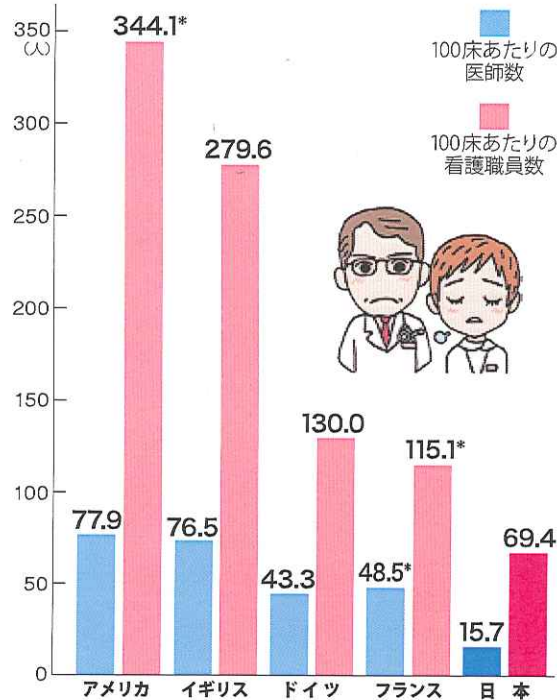
看護士などを大幅に増やし、安全・安心の医療・介護を求める署名にご協力ください。

こんなにも少ない日本の医師・看護職員数

第18回国際労働会議で以下の決議が採択されました。
① 労働者の健康と安全を確保し、労働者の権利を保護すること。
② 労働者の健康と安全を確保し、労働者の権利を保護すること。
③ 労働者の健康と安全を確保し、労働者の権利を保護すること。

NI 医労連 全大教 自治労連

こんなに少ない日本の医師・看護職員数 (2008年)



出典：「OECD Health Data 2010」
*は実際に臨床にあたる職員に加え研究機関等で勤務する職員を含む。

OECDとは

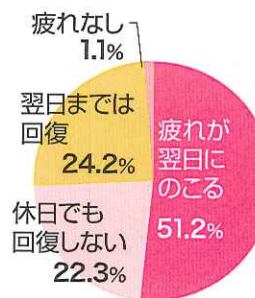
経済開発協力機構、略称OECD。経済に関する先進自由主義諸国間の国際協力機関で、加盟国の経済成長、雇用拡大、生活水準の向上、開発途上国援助、多角的な貿易の拡大などを目的としている。現在 30 カ国が加盟している(日本は1964年に加盟)。

看護師など夜勤交替制の労働者の労働時間は1日8時間・週32時間以内勤務間隔(次の勤務までの時間)を12時間以上に!

ILO看護職員条約・勧告では、勤務と勤務の間の休息を「最低12時間以上」としています。またILO夜業条約やEU労働時間指令は「11時間以上」の休息を義務付けています。

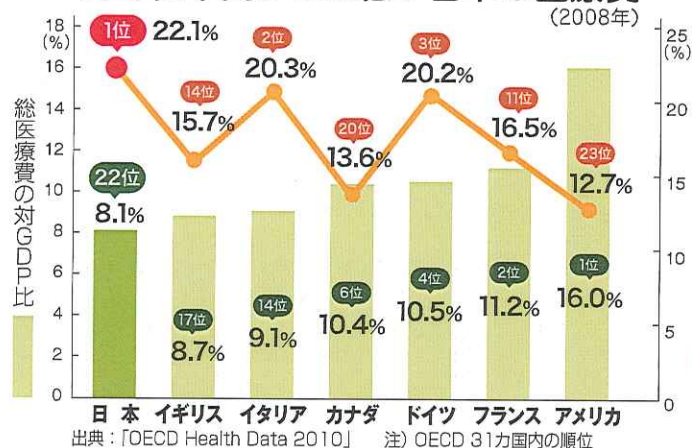
しかし日本の看護職員は、「12時間未満」が8割以上です。また、長時間勤務も増え、2交替夜勤のうち7割が16時間以上の夜勤になっています。そのために7割が疲労を訴え、ミスへの不安をもっています。

7割以上が慢性疲労



日本医労連 2009年看護職員の労働実態調査

高齢化率高いのに低い日本の医療費 (2008年)



出典：「OECD Health Data 2010」 注) OECD 31カ国内の順位



日本医療労働組合連合会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
TEL:03-3875-5871 FAX:03-3875-6270
ホームページ: <http://www.irouren.or.jp>